

大学 短大進学率 浪人を含む は 49.9%で過去最高に！ - 男子進学率、初の50%超 -

旺文社 教育情報センター

平成16年9月

16年度の大学・短大への進学率（浪人や大検などを含む）が49.9%、大学への進学率（同）も42.4%で、ともに過去最高となったことが、このほど発表された文部科学省の「平成16年度学校基本調査速報」でわかった。また、男子の進学率も初めて50%を超え、51.1%となった。ここでは、16年度の大学・短大に関わる諸データを分析・紹介する。

「学校基本調査」とは？

「学校基本調査」は、学校の教育行政を進めるうえで必要な基本的事項を明らかにするために、統計法（国の統計に関する基本法）に基づいて実施される全国規模の調査である。例年、文部科学省が小・中・高校・中等教育学校・幼稚園・専修学校・大学・短大など、すべての学校を対象に、学校数・在学者数・卒業者数や、入学状況・卒業後の状況などを調査する。調査結果（5月1日現在。ただし、卒業後の状況は前年度間）は例年、「速報」が8月、正式な「報告書」が12月にそれぞれ公表される。

大学・短大への受験状況

< 現役の大学・短大受験生数は68.7万人 >

16年3月の高校卒業者数（中等教育学校470人を含む）は123万5千人で、15年度より4万6千人（3.6%）減少した。

このうち、大学・短大への受験生数（実数：ここでは、「基本調査」の志願者数を受験生数としている。以下、同）は68万7千人で、15年度より2万6千人（3.7%）の大幅減となった。高校卒業者数が15年度に続き大幅に減少（前年度は3万3千人<2.5%>減）したことなどによる（表1参照）。

< 現役の大学受験生数は60万人台を割る >

現役受験生数を大学・短大別にみると、大学では15年度より2万人（3.4%）減の58万5千人で、60万人台を割った。これは、高校卒業者数の大幅減に加え、専門学校（専修学校専門課程）への進学拡大などによる。短大の現役受験生数は、5.5%減の10万2千人だった。なお、浪人の大学

受験生数は、15年度とほぼ同数の13万6千人だった。

<現役志願率は55.7%で、15年度と同率>

大学・短大への現役志願率(16年3月の高校卒業者に占める志願者の割合)は55.7%で、15年度と同率であった(表2参照)。大学・短大別では、大学は15年度より0.1ポイント増の47.4%、短大は0.2ポイント低下の8.2%だった。

<浪人を含む大学・短大受験生数は82.7万人>

過年度卒業生(浪人:14万人)を加えた大学・短大受験生数(実数:大検等を除く)は82万7千人で、15年度より2万7千人(3.2%)減少した(表2参照)。

大学・短大別にみると、大学では72万2千人(前年度比2.8%減<2万1千人減>)と、15年度に引き続き減少となっている。短大は15年度に比べて6千人(5.5%)減少し、10万6千人であった。

大学・短大への入学状況

<大学・短大入学人数は70.5万人>

大学・短大への入学状況をみると、入学人数(大検等含む)は70万5千人で、15年度より1万3千人(1.8%)減少した(表2参照)。大学・短大別では、大学が59万8千人で、15年度より6千人(1.1%)の減少となった。短大も15年度より7千人(6.0%)減の10万6千人であった。

<大学の不入学人数は1万5千人減少>

不合格者も含めた大学・短大の不入学人数(大検等を除く、受験者数-入学人数)は、15年度より1万4千人減り、14万3千人であった(表2参照)。このうち、大学の不入学人数は15年度より1万5千人少ない14万1千人で、短大は4百人ほど多い1千8百人であった。

大学の不入学者が減少したのは、受験生数の減少に加えて、17年度に国公立大のセンター試験5(6)教科7科目化がさらに進むことなどから、浪人を敬遠した結果とみられる。

<大学入学率は80.4%>

大学・短大受験生数(大検等を除き、浪人含む)に対する入学人数の割合(入学率)は82.7%で、15年度より1.1ポイント上昇した。

入学率を大学・短大別にみると、大学では80.4%で、15年度より1.4ポイント上昇している。一方、短大は98.3%で15年度より0.4ポイント低下した。

現役の大学・短大進学状況

<現役進学率は0.7ポイント上昇し、過去最高の45.3%に>

高校新卒者(中等教育学校含む)の進路別調査では、大学・短大等(大学学部、短大本科、大学・短大の通信教育部等)への進学者数は56万人(前年度より1万2千人減)で、6年連続の減少。大学・短大等への現役進学率は、12・13年度の45.1%から、14年度(44.8%)・15年度(44.6%)とダウンしたが、16年度は45.3%と過去最高となった。(表1参照)。

<男子進学率も過去最高の43.6%>

大学・短大等への現役進学率を男女別にみると、男子は3年度以降毎年上昇を続け、13年度に43.1%に達した。その後14年度(42.8%)・15年度(42.7%)と2年連続でダウンしたが、16年度は43.6%と過去最高となった。女子も12年度から4年連続のダウンが続いたが、16年度は47.1%と上昇に転じた。

進学率の男女差(女子>男子)をみると、11年度=7.9ポイント 12年度=5.0ポイント 13年度=4.0ポイント 14年度=4.1ポイント 15年度=3.9ポイント 16年度=3.5ポイントと、男子の追い上げ傾向が続いている(表1参照)。

<現役進学率トップは京都の55.6%>

高校新卒者の大学・短大等への現役進学率を都道府県別にみると、全国平均の進学率が15年度より0.7ポイント上昇して45.3%となったことを反映して、アップした都道府県が多い。16年度における現役進学率50%超の高率の都道府県は、15年度の東京・京都・兵庫など8都府県に石川・滋賀が加わり、10都府県に増えた。石川は0.8ポイント増の50.6%、滋賀は0.2ポイント増の50.0%であった(表3参照)。

浪人含む大学・短大進学率は50%に迫る

<男子の進学率は初めて50%を超える>

浪人や大検等も含めた大学・短大への進学率とは、進学適齢期の18歳人口141万1千人(ここの18歳人口は、3年前の中学校卒業生数を適用)に対する、大学・短大の入学者数70万5千人の割合である。

この大学・短大への進学率は49.9%で、過去最高となっている。

大学に限ってみると、入学者数は15年度より6千人減ったものの、進学率は42.4%(前年度より1.1ポイント上昇)で過去最高を記録した。しかし、短大は7千人の入学者減で、進学率は0.2ポイント低下の7.5%であった。進学率を男女別にみると、男子は51.1%(15年度より1.5ポイント上昇)で初めて50%を超えた。女子は48.7%(15年度より0.4ポイント上昇)となっている。

<“ユニバーサル化”目前の進学率>

浪人・大検等を含む大学・短大への進学率は3年度以降上昇を続けていたが、11・12年度の49.1%(同率)を境に、13・14年度は48.6%(同率)と減少。15年度に49.0%と上昇に転じ、16年度は過去最高の49.9%と、高等教育(大学・短大)への進学率が50%を超える、いわゆる“ユニバーサル化”が目前となっている。

大学・短大数と学生数

<大学は7校増、短大は17校減>

大学数(5月1日現在。以下、同)は、国立87校(13校減)・公立80校(4校増)・私立542校(16校増。株式会社1校を含む)の計709校で、15年度より7校増加した。

15年度に国立大は「東京商船大+東京水産大(統合後は東京海洋大)」、「香川大+香川医大」など10組20大学の再編・統合があり、また公立大も神戸商科大、姫路工大、兵庫県看護大の統合(統

合後は兵庫県大)があった。その時点で旧大学・学部に在籍していた学生がいる間は、旧大学・学部も存続する。また、公立大では国際教養大など3大学が新設された。この結果、国立大の13校減、公立大の4校増となった。

なお、学部募集を行っている公立大は75校だが、16年度に3組9大学の再編・統合、群馬県立県民健康科学大・石川県大の2大学の新設が予定されているため、17年度の公立大入試は71校で実施される予定。

短大数は、国立12校(1校減)・公立45校(4校減)・私立451校(12校減)の計508校(17校減)であった。

<学生数と男女占有率>

大学(大学院を含む)の学生数は15年度より5千人増加の280万9千人で過去最高に達した。このうち女子は15年度より1万3千人増え、110万1千人で過去最高。その占める割合も39.2%(前年度比0.4ポイント上昇)で過去最高となった。なお、学部の学生数は250万6千人で、15年度より3千人減っている。

一方、大学院の学生数は15年度より1万3千人増の24万4千人で過去最高となった。このうち女子は15年度より5千人増の7万1千人で過去最高を記録した。短大の学生数は、15年度より1万6千人少ない23万4千人であった。

大学・短大の女子の占有率をみると、短大では7年度以降減り続けているが、大学では拡大の一途をたどっており、女子の四年制大志向を示している(表4参照)。

新規高卒者の進路

<専門学校(専修学校の専門課程)への進学増加>

今春高校を卒業した123万5千人の進路先は、大学・短大等45.3%、専門学校(専修学校の専門課程)19.2%、就職16.9%、専修・各種学校8.3%、その他10.3%となっている(図参照)。「その他」のうち、一時的な仕事に就いた者は卒業生全体の2.2%、進学も就職もしない者は7.5%(9.3万人)となっている。

過去10年間の進路別割合をみると、大学(4年制大学)の増加に対し、短大の減少が目立つ。また、専門学校も増加しているが、これは先行き不透明な経済状況などから、従来の短大層や一部の大学層からの流入があるとみられる(図参照)。

なお、17年度以降の大学・短大受験生数の動向については、中央教育審議会の大学分科会による高等教育の将来構想(グランドデザイン)等の中間報告がまもなく示される予定となっており、その状況を鑑みて改めてご報告する。

次ページから参考図表

高校卒業者(現役)における進学状況の推移

(表 1)

年 度	高校卒業 者数(人)	大学・短大等 進学者数(人)	大学・短大等進学率(%)		
			計	男	女
平成5年	1,755,339	606,365	34.5	26.6	42.4
6年	1,658,949	598,959	36.1	27.9	44.2
7年	1,590,720	597,986	37.6	29.7	45.4
8年	1,554,549	605,619	39.0	31.8	46.0
9年	1,503,748	611,431	40.7	34.5	46.8
10年	1,441,061	611,841	42.5	37.2	47.6
11年	1,362,682	602,078	44.2	40.2	48.1
12年	1,328,940	599,779	45.1	42.6	47.6
13年	1,327,109	599,026	45.1	43.1	47.1
14年	1,315,079	589,826	44.8	42.8	46.9
15年	1,281,656	572,181	44.6	42.7	46.6
16年	1,235,423	560,052	45.3	43.6	47.1

注) 12年度以降の高卒者数には中等教育学校分を含む。進学者数には通信制を含む。

大学・短大への入学状況の推移

(表 2)

年 度	受験生数(人)		入学者数 (人)	不入学者数 (人)	現役志願 率(%)
		現 役			
平成5年	1,207,386	919,681	809,926	406,777	52.4
6年	1,165,339	885,366	805,710	369,696	53.4
7年	1,132,684	862,017	801,317	341,191	54.2
8年	1,096,198	845,060	800,023	305,762	54.4
9年	1,046,580	820,737	794,234	261,981	54.6
10年	992,722	792,567	782,173	221,116	55.0
11年	931,847	756,149	758,532	185,288	55.5
12年	889,194	738,443	741,146	162,589	55.6
13年	880,733	741,141	734,199	164,706	55.9
14年	876,568	737,991	730,778	167,375	56.1
15年	854,203	713,651	717,814	157,307	55.7
16年	827,245	687,509	704,540	143,082	55.7

注) 受験生数は大学(学部)と短大(本科)の合計。受験生数と不入学者数には大検等を含まない。

入学者数には、大検等を含む。

現役進学率が全国平均を上回った都府県

(表 3)

順位	都府県名	進学率 (%)	前年度増減(ポイント)	順位	都府県名	進学率 (%)	前年度増減(ポイント)
1	京都	55.6	0.2	12	愛媛	49.1	2.5
2	東京	53.5	1.0	13	大阪	49.0	0.9
2	兵庫	52.9	0.4	14	富山	48.6	0.3
4	広島	52.2	0.3	15	岡山	48.5	1.0
5	山梨	52.0	1.0	16	岐阜	48.4	2.1
6	愛知	51.9	0.7	17	徳島	47.9	0.6
7	奈良	51.3	1.0	17	静岡	47.1	0.5
8	石川	50.6	0.8	19	三重	46.6	0.7
9	福井	50.1	0.3	20	栃木	46.4	0.8
9	滋賀	50.0	0.2	21	香川	46.4	0.1
11	神奈川	49.4	0.6				

注) 現役進学率の全国平均は、45.3%(前年度比0.7ポイント上昇)。印は対前年度減。

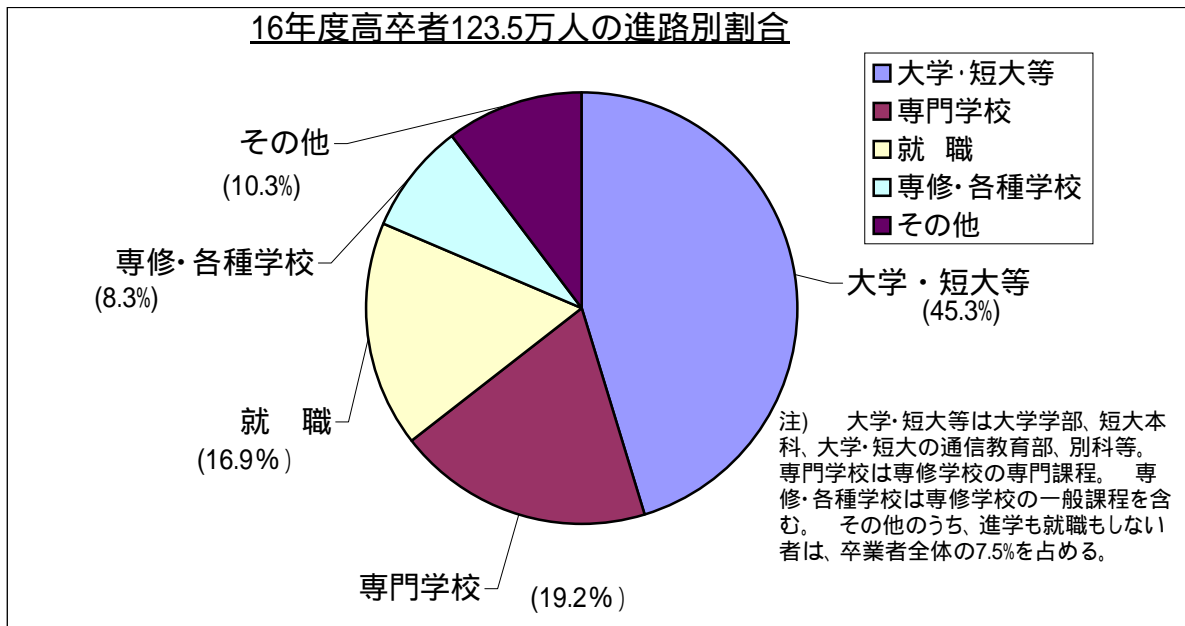
大学・短大学生数(男女別) & 女子占有率の推移

(表 4)

年 度	大学学生数(人)			女子占有率(%)	短大学生数(人)			女子占有率(%)
	計	男	女		計	男	女	
平成 5 年	2,389,648	1,665,124	724,524	30.3	530,294	43,484	486,810	91.8
6 年	2,481,805	1,706,156	775,649	31.3	520,638	42,829	477,809	91.8
7 年	2,546,649	1,724,756	821,893	32.3	498,516	43,077	455,439	91.4
8 年	2,596,667	1,732,520	864,147	33.3	473,279	43,989	429,290	90.7
9 年	2,633,790	1,734,356	899,434	34.1	446,750	43,821	402,929	90.2
10 年	2,668,086	1,737,215	930,871	34.9	416,825	41,453	375,372	90.1
11 年	2,701,104	1,741,614	959,490	35.5	377,852	38,111	339,741	89.9
12 年	2,740,023	1,747,711	992,312	36.2	327,680	33,990	293,690	89.6
13 年	2,765,705	1,739,307	1,026,398	37.1	289,198	31,091	258,107	89.2
14 年	2,786,032	1,726,088	1,059,944	38.0	267,086	30,057	237,029	88.7
15 年	2,803,980	1,716,549	1,087,431	38.8	250,062	29,972	220,090	88.0
16 年	2,809,323	1,708,465	1,100,858	39.2	233,749	29,287	204,462	87.5

注) 大学学生数には大学院等を、短大学生数には別科・専攻科等をそれぞれ含む。

(図)



(図)

